

備前市施設評価シート（一般）

基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
------	-------------------

基本施策	03 歴史と文化の輝くまちづくり
------	------------------

施策	01 文化芸術の振興
----	------------

事務事業	03 加子浦歴史文化館管理運営事業
------	-------------------

問合せ先 (担当課・係・職・氏名)	生涯学習課文化係 係長 石井 啓
----------------------	------------------

PLAN				DO					CHECK		ACTION								
基本情報		施設の目的等		施設内容・規模・料金体系等		経費		財源		妥当性評価 評価の根拠 は下記にあり	H24年度の状況及び管理運営の改善案	判定							
施設名	備前市加子浦歴史文化館	根拠法令等	備前市加子浦歴史文化館設置条例	鉄筋コンクリート2階建て 地下1階 延べ床面積 301.58㎡ 展示室 約30人収容	資料館 木造2階建 延べ床面積 240.67㎡ 学習室 約40人収容	蔵 延べ床面積 25.88㎡ 茶室 延べ床面積 9.8㎡	料金体系 大人200円 子供・市内高齢者・身障者 100円 団体料金（15人以上）大人150円 子供 70円	経費	人件費	正規職員 0.9人 5,177 臨時職員 人	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	単位	C	企画展期間中の入館者数増加は、あまり期待できないので、親しみやすい文化講座を開催し、市民と親しむ機会を多く作りたい。	廃止・閉鎖が可能 類似施設との統合が可能 民間又は地域等への譲渡が可能 指定管理者制度の導入が可能 事務等一部委託が可能 現在の管理運営体制が望ましい		
所在地	備前市日生町日生801-4	対象	市内外を問わず、小学生・中学生・高校生・大学生等、または生涯学習をしようとする人、歴史研究者・郷土史研究者・観光客・資料寄託者・資料寄贈者					指定管理料						千円				判定理由	
建物建設費	237,898千円	目的	郷土に関する歴史・民俗・文芸資料の収集と保存につとめ、それらを後世に伝え、遺す。で収集した資料をもとに常設・企画展を行い、当館利用者の文化的向上と調査向上の一助となることを目的とする。					維持補修費	150	149	550	千円							
財源	補助金等 31,500千円 一般財源等 206,398千円	類似施設の状況	あり 施設名（備前市歴史民俗資料館・備前市吉永町美術館） なし					物件費	4,442	4,604	4,707	千円		C				修繕・大規模改修（今後5年間） 毎年経常的に必要な修繕費 漏水や台風被害に備えて 150千円	当館利用者数の激減を、文化施設存続の意義無しと即決するのではなく、文化施設は守っていかねばならないものと考える。
建設年月日	平成9年10月20日							その他（ ）	340	310	343	千円							
耐用年数	50年							減価償却費	3,715	3,715	3,715	千円		C				今後5年間に必要となる大規模改修費 文芸館天井の補修 1,000千円	
管理運営方法	指定管理者制度 一部委託 委託内容（すべて直営）							合計	13,824	14,762	15,536	千円							
								特定財源	使用料 540 その他 19	483	425	千円							
								一般財源	13,265	14,265	15,097	千円							
								指定管理者の利用料金収入等				千円							
								年間利用者数	3,159	3,324	2,586	人							
								利用者1人当たりコスト（一般財源）	4,199	4,292	5,838	円							
								受益者負担率	3.9%	3.3%	2.7%	%							

稼働実績	施設名： 加子浦歴史文化館												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数	24	24	26	27	25	25	27	23	24	24	24	27	300
入館者数	112	230	172	155	137	139	176	229	312	210	284	315	2471
学習室			17									19	36
文化講座						28		20	16			15	79

妥当性評価の根拠

施設のニーズは薄れていないか？  
薄れている ・ 薄れない  
そもそも市が設置・運営すべき施設か？  
設置すべき ・ 必ずしも設置の必要はない  
廃止した場合の市民生活への影響は？  
大きい ・ それほどでない

効率性評価の根拠

利用状況は順調か？  
順調である ・ 順調でない  
受益者負担は適正か？  
適正である ・ 見直しの余地あり  
・ 負担は求められない  
類似施設との統合の可能性はあるか？  
可能 ・ 不可能  
管理運営コストの削減の余地はあるか？  
ある ・ ほとんどない